

化石探検隊

～ おおむかしの生き物をもとめて～

釧路市立東中学校 自然科学部

知られていないようですが、白糖町、阿寒や釧路町、厚岸町、霧多布など釧路のまわりは貝や植物、鯨やサメ、哺乳類の化石の宝庫です。なにしろ釧路市じたい大きな釧路炭田の上にできた町なのです。みんなもちょっと郊外に出たら地層や河原の小石をよーく見ながら探してみよう。何か発見ができるかもしれない。

よういするもの

ふくそう

Gパン(ジャージは動きやすいですが、砂が入ってかゆくなります)
軍手、帽子、長靴やトレッキングシューズ

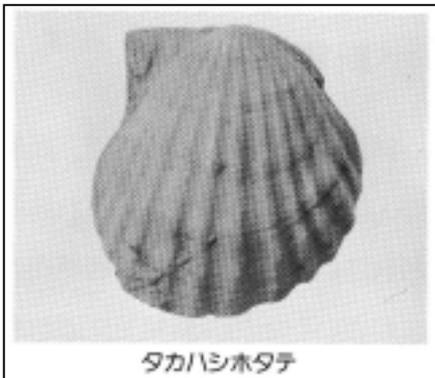
もちもの

ハンマー、たがね(または太いくぎ)、歯ブラシ、接着剤

みじかにある化石

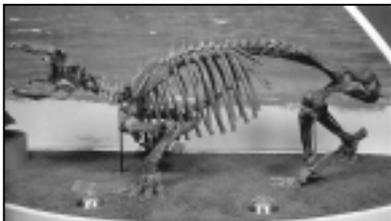
阿寒町

阿寒町には中流域にはタカハシホタテが河原で発見することができます。



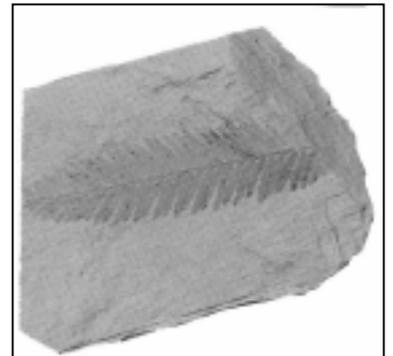
約200万年前の化石で寒い地方の海に生活する貝でホタテに似ています。背中に大きなふくらみが特徴です。

また、布伏内付近には2000万年前の草を食べるカバのような大型動物の化石が発見されています。



同じ地層からはクジラやサメの化石も発見されています。足寄町の化石博物館には骨格標本も展示されています。

布伏内の奥には昭和45年に閉山した雄別炭鉱があります。この地層にはゼンマイ、メタセコイヤ、ハンノキほか、シタカラシジミ、カキなど淡水にすむなかまが多くあります。



浜中町

6,500万年前の地層が海岸線に見えます。釧路地方では数少ないアンモナイトの産地です。でも、そこは私有地ですから勝手に入ってはいけません。このアンモナイトは大きくても直径15cmくらいです。



もっと知りたい人へ

日本の化石(成美堂出版)

釧路の生い立ち(釧路市立博物館)

5万分の1地質図阿寒(北海道開発庁)